

平成24年度 第1回大学と県教育委員会との連携推進会議

議事概要

1 日時：5月29日（火）14時30分～16時30分

2 場所：愛知県白壁庁舎 5階 第4会議室

3 出席者：資料1の出席者名簿のとおり

4 議事概要

(1)あいさつ

愛知県教育委員会 野村教育長より

(2)「あいちの学校連携ネット」について

愛知県教育委員会より資料2「あいちの学校連携ネットについて」を説明。

主なやりとり

(出席者)

県教育委員会HPのトップページに「あいちの学校連携ネット」へのリンクがあると、利用が増えると思う。

また、短大のサイトへの参加について前向きに検討してほしい。

(3)大学生による学校現場での学習支援の充実について

愛知県教育委員会より資料3「平成24年度 大学生による学校現場での学習支援の充実について」を説明。

(4)あいちの大学「学び」フォーラム(仮称)の開催について

愛知県教育委員会より資料4「あいちの大学『学び』フォーラム(仮称)について」を説明。

また、大学における同趣旨の取組事例として、愛知県立大学より今年3月に外国語学部が主催した「高校生のための講座：ことば、文化、社会…外国を知る」についてアンケート結果と併せて事例発表をいただいた。

主なやりとり

(出席者)

フォーラムの講座の内容は講義形式でないとダメなのか。本学のように実技系の大学では、体験型やワークショップ型の方が設定しやすいが可能か。

(愛知県教育委員会)

体験型の講座も実施していきたいが、会場の都合で講座の内容によっては制約

があるかもしれない。ただ、サテライトキャンパスでも実施可能な規模の体験型講座であれば実施は可能。

また、体験型の講座を行える会場を提供していただければ、実施をしていきたいと考えている。

（出席者）

本学のキャンパスで実施する場合、90分の実習を2コマ連続で実施することは可能か。

（愛知県教育委員会）

今回ご協力いただく大学の数や、開催日数、ご提供いただく講義内容によって検討させていただく。

（出席者）

本学のキャンパスで実施する場合、高校生の保険はどうなるのか。

（愛知県教育委員会）

県教育委員会でかける予定はないが、高校によっては、こうした課外活動のための保険に加入しているところもあるため、県教育委員会としてもトラブルにならないよう、各高校に参加を呼び掛ける際に、必要に応じて保険に加入するよう高校生や保護者にきちんと周知していく。

なお、実験施設を利用する講座を設ける場合は、参加する生徒の損害保険への加入を条件に講座への参加を認めるなど、その大学と個別に協議させていただきたいと考えている。

（出席者）

講座の内容について、歴史・文化・言語の中に「文学」を入れておく方がいいと思う。

（愛知県教育委員会）

「文学」も に含める形で考えていただきたい。

（出席者）

講座の設定について、あまり固定的な形ではなく、多様な形を模索していただけるとよいと思う。

高校生にとって、大学での学びは高校までとどういった点が違い、新しいのかを認識できるよう、コンテンツに応じて空間・時間配分・講義のやり方を検討できるとよい。

（出席者）

本学では、高校への出張講義として模擬講義30分・入試案内20分でやっていたが、大学教員の強みをより伝えられるように、今年度から講義のみ50分の熱中授業に切り替えた。今年度も既に約10校で実施している。

今回のフォーラムについて、90分というのはよい提案だと思う。50分だと盛り上がったところで終わってしまうということがあったので、大学の講義を早期に疑似体験できるのはよいと思う。

（出席者）

入試広報の枠を離れて、各大学の授業の特色を高校生に伝える機会はないと思う。各教員がこのような目的を理解してくれるか不安はあるが、高校生に高等教育の魅力を伝えられるとよいと思う。

(出席者)

本学ではSSHの取組として、地元の高校生を対象に、大学で講義を行うとともに、実際に研究室に来てもらって実験を行っている。

(愛知県教育委員会)

今回のフォーラムは公立私立を含めてどの学校の生徒も参加できるようにしていき、90分という講義を体験することで高校生に大学で学ぶことの面白さや難しさを伝えていきたいと考えている。

これまで理系の生徒にはSSHなど大学で学ぶ機会が増えてきているが、文系の生徒はそうした機会を作りにくかったので、そういった場づくりとして今回のフォーラムを実施していきたい。

(出席者)

フォーラムへの参加案内については、私立高校の教員が集まる機会などにご案内いただくとありがたい。

(5)平成24年度の県教育委員会の取組について

愛知県教育委員会より資料5「県教育委員会における主な高大連携の取組(平成24年度)」を説明。

(6)その他

愛知県教育委員会より「『あいちの教育』に係るシンボルマーク・標語、ポスターデザインの募集」を依頼。

また、今後の連携推進会議における議題について、協議したい内容があれば、ご提案いただくよう依頼。

(7)あいさつ(愛知県教育委員会 野村教育長より)

「あいちの学校連携ネット」は、高校生が自分が何のために今、勉強をしているのか、今の学びが大学での学びにどうつながっていくのかなど、まさに高校生の学習意欲を高めるために重要な役割を果たすものと期待している。

県教育委員会として、このサイトを高校生にしっかりとPRしていきたいと考えているので、是非、各大学においてもより多くの情報を提供し、また更新していただくようお願いしたい。